

未来に羽ばたけ日枝中 ~We Love HIE~

湖南省立日枝中学校学校だより
令和4年(2022年)6月8日①

のがみがわ

一つ・またひとつ

和衷共濟(わちゆうきょうさい)

心を合わせて協力して物事を行うこと。和衷は、心の底から一つに合わせること。

文責 校長 藪下 和彦

過日、5月19日(木)、20日(金)の2日間にわたって、春季総体ならびに吹奏楽祭が開催されました。天候に悩まされることなく、無観客ではありましたが無事に大会ならびにコンクールが開催されたことが何よりです。昨年の秋にチームや体制が新しくなり、キャプテンや部長を中心に約半年間、寒い冬を越えて春の本番に臨みました。以下は、大会やコンクールを目の前に控え皆さんへ向けたメッセージです。先月末の全校集会で話をしたように、最後の夏へどうつながっていくかが大切です。すでに、夏へ向けた取組は始まっています。

全校の皆さんへ

いよいよ、春季総体ならびに吹奏楽祭が明日、明後日に迫りました。新しいチームに変わり、昨秋から約半年かけて毎日の練習に励んできました。3年生の先輩方からバトンを受け取り、各部それぞれキャプテン、副キャプテン(部長、副部長)を中心に、チームとしてそして個人として目標やテーマを設定しながら春の大会やコンクールを迎えたことと思います。

3年生の人たちは覚えていますか。あなた達が1年生の時、3年生の先輩方は、コロナの影響で春の大会、コンクールが中止になりました。最後の夏こそはと願いを込めて、限られた練習時間を全力集中で取り組み迎えた夏季総体。交流会形式ではありましたが、節目となる試合やコンクールは何とか実施することができました。しかし、3年生の人達の試合に負けた悔しい姿を目にした時の気持ち。そして何よりも一生懸命練習してきた成果を試す真剣勝負の場を奪われた時の悔しさ。悔しさや失望感を一緒になって共感した時の気持ちは今でも記憶に新しいのではないのでしょうか。

3年生の皆さんにとっては、全てのことが中学校生活最後となります。最後の夏へ向けて悔いのない春の大会、コンクールにしてほしいと願います。スポーツやコンクールは必ずしも全員が素晴らしい結果を残せるわけではありません。そしていつかは負ける時がきます。だからこそ最後の試合で納得のいくものにしてもらいたいです。そのために毎日練習するのです。春の大会やコンクールも考えようによっては、最後の夏へ向けた通過点に過ぎません。秋から半年間、毎日毎日練習してきた成果を先ずは思う存分、与えられた時間や場面で100%全て出し切ってください。

そして、大会には参加しませんが、学校へ残り学習を進めるみなさん。大会やコンクールに出場するしないに関わらず、みんながみんなでお互いの頑張りや健闘を讃え、認め合えるような2日間になれば願っています。

最後になりますが、校長先生は体調を崩してしまい、皆さんの秋からの成長を直接自分の眼で確かめることができなくなってしまいました。皆さん一人ひとりの頑張りは、大会終了後、顧問の先生方からお聞きしたいと思っています。それでは、健闘を祈っています。頑張ってください。

日枝中学校校長 藪下 和彦

■野球 1回戦 3 - 5 水口中



■バレーボール 1回戦 2 - 0 打出中
2回戦 0 - 2 皇子山中
■サッカー 1回戦 1 - 3 安曇川中



■バスケットボール 1回戦 25 - 57 老上中

■ソフトボール 1回戦 22 - 16 北大路中
2回戦 8 - 16 長浜南中



■ソフトテニス女子 【団体】
1回戦 2 - 1 甲西中
2回戦 0 - 3 甲南中



■ソフトテニス男子

【団体】
1回戦 3 - 0 甲西中
2回戦 2 - 1 水口中
3回戦 3 - 0 城山中
決勝 1 - 2 甲賀中(団体2位・県大会へ)
県大会 3 - 0 打出中
2 - 1 守山南中
0 - 2 朝桜中(県ベスト8)



■体操 S.N 総合9位

【個人】

*K.T.R.M ペア(ベスト8・県大会へ)
*S.K.R.K ペア(県大会へ)
県大会 K.T.R.M ペア(県ベスト16)
S.K.R.K ペア(2回戦敗退)



■バドミントン T.Y シングルス
7-21/4-21 敗退

■水泳 R.I 50m自 35"79
100m平 1'35"95
R.S 100m平 1'20"34
200m平 2'51"15

少しずつ...

新型コロナウイルス感染症との生活も3年目を迎えました。知らないことや分からないことへの恐怖から始まった1年目。ワクチンの開発や接種とともに変異ウイルスの出現による悪戦苦闘や試行錯誤の日々に追われた2年目。そして、2回目3回目のワクチン接種が多くの年齢層で進められている今年度。少しずつではありますが、「正しく恐れること」が定着しつつ、まだまだ予断を許さない状況には変わりありません。

そのような中で、学校現場の多くが悩み続けてきた学校行事についても、元の状態に戻すにはまだまだ時間を要するかもしれませんが、着実にその方向へ進んできているように感じます。そういった視点から、日常には欠かすことができない『マスク』の脱着について、国や県の通知を受けて下記のような文書を過日配付いたしました。学校生活の中での指導はもちろん、今一度、各ご家庭におかれましては確認及び子どもたちへの声かけをお願いします。

令和4年(2022年)5月26日

市内小中学校保護者の皆様

湖南省教育委員会 教育長 松浦加代子
湖南省立日枝中学校 校長 藪下和彦

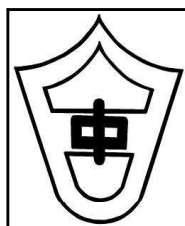
新型コロナウイルス感染症対策にかかるマスクの着用について(お知らせ)

平素は、本市ならびに本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。報道されていますように、文部科学省は、全国の学校に「学校生活における児童生徒等のマスクの着用について」(5月24日)という内容の事務連絡をしました。「十分に距離が確保できる場合や、体育の授業では必要なく、特に夏場は熱中症対策を優先し、マスクなしの指導を優先する」「人との距離が十分に確保できないときや運動部の部活動での食事や集団での移動にはマスク着用を求める」というものです。

現状では、政府は「新型コロナウイルス感染症対策のためにマスクの着用は不要である」ということを言いきってはいません。

湖南省教育委員会は、これまでも「学習活動時や登下校時に熱中症を懸念する場合は、マスクを外す」ことを推奨してきました。今回の文部科学省の通知は、熱中症対策をより強く押し出したものです。それに沿った指導を、各学級では発達段階に応じて行います。

しかしながら、感染を心配する児童生徒もいますので、ご家庭で今一度お話し合いいただき、特に登下校時のマスク着用についてはご判断くださいますようお願いいたします。



未来に羽ばたけ日枝中 ~We Love HIE~

湖南市立日枝中学校学校だより
令和4年(2022年)6月8日②

のがみがわ

和衷共濟(わちゆうきょうさい)

心を合わせて協力して物事を行うこと。和衷は、心の底から一つに合わせること。

文責 校長 藪下 和彦

3年ぶりの実施

6月1日から二泊三日で、和歌山県へ修学旅行に行ってきました。長崎県での平和学習および民泊がメインとなっていた本校の修学旅行。一昨年度の令和2年度は滋賀県長浜市での日帰り旅行。昨年度の令和3年度は大阪方面での日帰り旅行。3年生にとっては、最終学年でしかも新しい年度になって間もない時期に、学校行事の中で最も大きな行事として位置づけられている修学旅行。今年度についても、今年の2月に長崎から和歌山に時期と方面ならびに内容を大きく変更し、コロナの感染対策を十二分に講じた上で、何とか実施にこぎ着けることができました。時期的なものや方面そして内容が変更されたことよりも、二泊三日という従来の修学旅行の形で実施できたことが何よりも大きな成果として、子どもたちの心の中に大切な思い出の1ページを刻むことができました。簡単ではありますが、事前指導や当日の様子を紹介します。

【5月31日(火)】修学旅行事前指導の様子です。



いよいよ明日に迫った修学旅行。どことなくそわそわと落ち着かない様子の方も見受けられました。しかし、何とか実施できるという安心感というか期待が体育館全体に漂っていました。



右の写真は集団行動の様子です。→



左の写真は、各クラスの班長さんの係別会議の様子です。各係に別れる際にも班長さんの集合が一番速やかでした。担当の中嶋先生からもお褒めの言葉をいただきました。3日間の修学旅行が成功裏に終わるかどうかも、班長さんの腕の見せどころですね。多くの人の「思い」や「願い」がたくさん詰まった修学旅行のスタートです。

【6月1日(水)】出発式の様子・日置川向平キャンプ場体験学習の様子です。

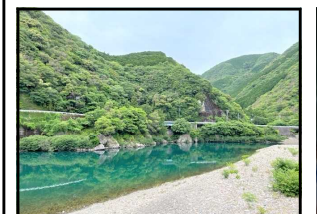


左の写真は出発式の様子です。実行委員長の佐中さんからの挨拶です。学校集合時間は、普段の登校時間と大きな差はなく、予定どおりの時間に出発式が行われました。また、右の写真は、出発の際に横断幕を用意していただき、お見送りをさせていただきました。多くの人の思い



が様々なところに詰まっていますね。そういった思いに応えられるような3日間をしたいですね。感謝ですね。

下の写真は体験学習の様子です。日置川の水はとてもきれいで澄んでいました。川釣り体験とカヌー体験の様子です。川釣り体験では、約1時間で6尾釣り上げた人いました。また、釣った魚を捌き唐揚げにして美味しくいただきました。カヌー体験では、慣れない中でも、上手くオールを操り身体全体でバランスを保ちながら下流へ移動することができました。インストラクターさんからは、礼儀正しい生徒さんが多いですねと言われました。



【6月2日(木)】串本海中公園の様子・熊野古道散策の様子です。



左の写真は串本海中公園の水中トンネル式大水槽の様子です。開業50周年を迎えたタイミングでの見学となりました。頭上を泳ぐサメやエイ、クロマグロが臨場感たっぷりでした。串本周辺の多彩な海中生物を集めた水族館や海中展望塔。水槽をとおしてではありませんでしたが、珊瑚の海は迫力があり素敵な空間での見学時間となりました。左下の写真は熊野古道のパワースポットのひとつでもある、「467段の階段」です。大門坂を歩いて那智山参道入り口から熊野那智大社まで行く道にこの階段があります。登り終えた後の景色は絶景でした。右下の写真は有名な「那智の滝」です。落差が日本一の滝で「三筋の滝」とも呼ばれています。ここがゴール地点となり、暑さに負けず仲間と励まし支え合いながらゴールを目指す姿が多くの場面で見受けられました。お疲れ様でした。



【6月3日(金)】白良浜の様子・アドベンチャーワールドの様子です。



左の写真は、今回二泊したホテルから歩いて5分ほどで行ける「白良浜海岸」です。620mに渡る白砂の浜。白い砂、エメラルドグリーンの海、椰子の木の並ぶ風景が3日目の疲れをしばし癒やしてくれました。間近で海を見たり、裸足で砂浜を歩く機会にはなかなか恵まれない中、貴重なひとときを過ごすことができました。自然と笑顔になったり、海水の冷たさに思わず叫んでしまう声があちこちから聞こえてきました。右下の写真は、アドベンチャーワールド内の昼食時の様子です。入りロケットで手渡されたミールクーポンで、楽しそうに食事をしている数多くの場面を見ることができました。施設内の滞在時間は開門から約4時間。左下の写真は、イルカショーのビッグオーシャン内の電光掲示板に、「ようこそ日枝中学校」と記されていました。



成長していこう！素晴らしい集団を目指して

2日間同じホテルで滞在させていただき、つつい羽目を外して騒がしくしてしまった時、自分たちだけの楽しさが優先されてしまい、ふと気がついたときには一般のお客様のことはどこへやら……。でも、ここからが違いました。全室の手紙を合計すると20数枚になり、そこには感謝の気持ちを綴る内容であったり、迷惑をおかけしたことへの謝罪の念であったり。今まで、修学旅行として数多くの学校を受け入れてきましたが、これだけたくさんの手紙をもらったのは日枝中学校が初めてです。未だかつてないことで大変嬉しいかぎりですと仰っていただきました。失敗から何を学ぶかですね。～お世話になったホテルの責任者である北原様から～

【7月主な行事】

- 7日(木)⑤⑥2年生命の学習・生徒会委員会
- 8日(金)⑥クリーングリーン・漢字検定
- 11日(月)～全校三者懇談会(～15日まで)
- 19日(火)⑤夏季総体、吹奏楽コンクール激励会
- 20日(水)1学期終業式
- 21日(木)・22日(金)夏季総体ブロック予選および吹奏楽コンクール地区大会
- 28日(木)・29日(金)夏季総体県大会

本格的な夏の到来を前に、熱中症に注意が必要な時期になってきました。身体が暑さに慣れるまでには個人差があります。いつもより多い目の水分を持たせていただきますようお願いいたします。

★新型コロナウイルス感染症の影響により、急遽行事が変更・中止される場合もあります。